

東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会（令和6年度第4回）議事録

1 日時 令和7年3月10日 午前10時から正午まで

2 場所 WEBによるオンライン会議

3 出席者

（委員）津江委員長、上道委員、小林委員、納富委員、松村委員

（東京都）名取課長、足立課長代理、藤島主任

4 議題

（1）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定申請の状況

（2）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査

5 議事

○足立課長代理 では、皆様、先生方、おそろいになりましたので、ただいまから令和6年度第4回東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきます。

会議の進行について、委員長に引き継ぐまでの間、本会議の進行を務めます事務局の私東京都環境局環境改善部大気保全課大気担当の足立でございます。

本日は、委員の皆様全員に出席していただいております。

さて、議事に入る前に、本日の会議についてご説明させていただきます。

この会議は、低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第7の規定に基づきまして公開いたします。ただし、議事（2）の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第7条第3号に係る案件となりますので、非公開といたします。

なお、本日傍聴の方はいらっしゃいません。

また、同要領第8の規定に基づき議事録を作成し、東京都情報公開条例第7条各号に掲げる非開示情報に該当する部分を除き、原則として公開しますので、お含みおきください。

開会に当たりまして、東京都環境局環境改善部大気保全課長の名取より一言ご挨拶させて

いただきます。

○名取課長 皆さん、おはようございます。

本日は、年度末のお忙しい中、東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。今回もウェブによる開催としておりますので、ご不便をおかけする点もあるかと思いますが、どうぞご協力よろしくお願いいたします。

さて、東京都では、都政の新たな羅針盤となる長期戦略としまして、2050東京戦略というものの検討を進めております。1月31日に公表しておりまして、3月3日、先週までパブリックコメントを実施しておりました。今後、都民の皆様からいただいたご意見を踏まえて検討を行いまして、3月末をめどに策定をする予定となっております。

この新たな長期戦略の案におきまして、PM2.5や光化学オキシダントなどの大気汚染対策は、気候変動対策等と並んで主要な施策として位置づけられております。都内の大気汚染は順調に改善はしてきているものの、光化学スモッグ注意報の発令が去年は15日あったことですか、あと、PM2.5のさらなる低減など、まだ課題も残っているところでございます。これらの課題解決のためには、主要な原因物質であるVOC対策やNO_x対策、引き続き、地道に取り組んでいく必要があると考えているところでございます。そのためにも、本制度を着実に運用して、環境性能の高い機器の開発や導入を促進していきたいと考えております。引き続き、委員の皆様のご協力をいただければ幸いです。

本日、認定委員会では、蒸気ボイラーに2代表型式の認定審査を予定しております。今年度最終回となりますけれども、委員の皆様には忌憚のない意見、ご議論をいただきますようお願いしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○足立課長代理 続いて、ウェブ会議の注意事項を3点申し上げます。

1つ目、資料は情報セキュリティー対策のため、画面には映写できません。別途郵送しておりますので、そちらをご覧ください。

2点目、会議中は音声をミュートにいただき、ご発言の際はミュートを解除してご発言ください。3点目、会議中に音声が聞こえづらいなど不具合がございましたら、随時、事務局までお知らせください。

説明は以上でございます。

それでは、これ以後の進行は、津江委員長にお願いしたいと思います。

委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

○津江委員長 お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、早速議事に入らせていただきます。

議事（１）の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定申請の状況について、事務局のほうからご説明をお願いいたします。

○藤島 大気保全課、藤島でございます。

それでは、私のほうから、資料１につきましてご説明いたします。

資料１のほうは、画面を共有いたしますので、少々お待ちくださいませ。

それでは、こちらの資料１の説明に移ります。

まず、概要でございます。今回は、ガス炊きの蒸気ボイラーにつきまして、代表型式２機種申請がございました。申請区分といたしましては、グレードAA相当のものという申請でございます。

続きまして、NO_xの削減方式の説明に移ります。

こちら２型式どちらにつきましても、完全予混合という対策を取っていらっしゃいます。

続きまして、CO₂低減、効率向上方式の説明でございます。

こちら、どちらの型式につきましても、エコマイザーの採用という形で効率向上対策を取っていらっしゃいます。

資料１の説明は以上でございます。

○津江委員長 ありがとうございます。

特に何かご意見等はございませんでしょうか。

ございませんようでしたら、それでは、次の議事に入らせていただきたいと思います。議事（２）の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については、非公開にさせていただきます。

（認定審査のため、非公開）

○津江委員長 本日の議事のほうは以上となりますので、事務局のほうに議事進行をお返しいたします。ありがとうございます。

○足立課長代理 ありがとうございます。

では、事務局から連絡事項を、藤島よりご説明させていただきます。

○藤島主任 連絡事項は１点でございます。毎回のことでございますけれども、今回郵送いたしました一式の書類と電子データの入ったCD-ROM、それから口座振替依頼書につきましては、事務局宛てに同封されておりますレターパックにてご返送をお願いいたします。

連絡事項の説明は以上でございます。

○足立課長代理　今回で今年度の認定委員会は最後でございます。

最後に、大気保全課長の名取よりご挨拶させていただきます。

○名取課長　大気保全課長の名取です。

本日も皆様、ご議論いただきましてありがとうございます。今年度、計4回の委員会を開催させていただきまして、今年度は合計6件の認定審査をしていただきました。これによりまして、これまでに認定された機種は、今回のものも含めて代表型式として合計で822機種になる見込みです。多くの認定機種を送り出すことができいております。

一方で、先ほどのご議論でもありましたとおり、制度を長く運用してきている部分で、過去の測定データをいつまで使えるかといった新たな課題も出てきていると認識しております。このあたりも今後十分に意識して運営していかなければいけないなというふうに思った次第でございます。これまでの委員の皆様のご協力に改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

さて、今回をもちまして、委員の皆様の任期の2年が経過をしております。ここで一度改選ということになりますけれども、委員の皆様には、事務局から継続就任のお願いをさせていただきました。皆様お受けいただけるというふうに伺っております。ありがとうございます。次年度以降も、引き続き専門的見地から本委員会にお力添えをいただければ幸いです。

改めまして引き続きのご協力をお願いしまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

○足立課長代理　来年度の認定委員会も4回の開催を予定しております。開催日程につきましては、日程調整等、別途事務局よりご連絡させていただきます。

では、これをもちまして令和6年度第4回認定委員会を終了させていただきます。

本日はお忙しいところ、ありがとうございました。